

記念号の発刊に際して

学 長 松 本 武 雄

こまわりのきかない恐竜となるよりも敏捷な蛟となることも却って息が長いのではないか。教育は息の長い仕事で線香花火のような短命であってはならない。たとえ規模は小さくとも地域社会に深く根をおろし信頼と歓迎を受くるに足る、しかも立地である国際港都横浜の名にふさわしい国際的教養の豊かな人材の育成を目ざして横浜商科大学を開設して早や十年を経過いたしました。

顧みてまことに夢のようであります。教育の成果などそんなに急激な発展などあり得るものではありませんが施設設備も逐年整備されてまいりました。入学志願者も激増し学生の資質も年々向上してまいりましたし、教職員各位のたゆまない御努力で一学部三学科の学生二千余名が平和な環境のもとで研鑽に怠りないことは本当にありがたいことで、学園は「学生と教職員との運命共同体なり」を信条とする私にとってもこれほど愉快なことはありません。

大学の研究機関誌「商大論集」も回を重ねること九巻、この度十周年記念特集の発刊に際し、その編集にあたられた各位に深甚の謝意を表しますと共に、関係各位の今後益々の御協力を期待してやみません。